

秋田市 農林部だより

第3号

編集発行 秋田市農林部農林総務課

住所 秋田市八橋本町六丁目12-1

TEL (018)866-2115

FAX (018)864-4408

生産、加工、販売を一体化！6次産業化へチャレンジしませんか 有望な市内産品を公募中！詳細は裏面

秋田市では、秋田の産業の未来を切り開く可能性を秘めた“6次産業化”の取り組みを、今年度から本格的にスタートさせました。皆さんもご自身で作った農産品等の加工・販売に取り組んでみませんか？市ではいろいろな方法で支援していきます。

地域の雇用創出と所得向上が目的

「6次産業化」とは、農畜産物や水産物などの生産(1次産業)と加工(2次産業)、販売(3次産業)を一体化し、農林水産業を中心に、地域で新たな付加価値を生みだそうとする取り組みです。

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた秋田市。6次産業化は、そこから産まれる農作物、水産物などの資源とさまざまな産業を結びつけ、新たなビジネスの展開や販路拡大などをはかり、地域の所得向上と雇用創出につなげていくことを目的としています。

秋田市は周辺部の豊かな農業地帯に近接して32万人の市民が暮らし、1万6千を越す事業所が立地しているという特徴を持ち合わせています。この恵まれた条件を上手に活かし、農業資源と人・技術をうまく融合させることができれば、本市農業と経済のさらなる発展が期待できます。

■6次産業化のイメージ図



6次産業化専門員にご相談を

今年4月から、6次産業化専門員として秋田市農林部に勤務する泉牧子さん。平成18年に、三種町にある日本初のJA版コンビニ「JAンビニANN-AN」立ち上げにかかわったほか、現在は、農林水産省が選定する「地産地消の仕事人」や6次産業化を推進する「ボランティア・プランナー」として、農業と食を通じた地域の活性化のため、幅広く活躍しています。

農業の魅力や底力を伝えられたら…

「食べものは農業から生まれます！」これが唯一、私が伝えたい信条です。秋田市のわずか3%の農家が32万市民の皆さんの食卓を支えられるよう、農家の皆さんとともに食べものの現場をお伝えできたらと思います。それがきっと秋田市にしかできない新しい産業に結びつくと思っています。どうぞよろしく願い申し上げます。

一步踏み出すやる気をサポートします

生産者自身や地域産業を巻き込んだ商品開発・販路開拓のほか、農家民宿・レストランの経営、再生可能エネルギーの活用などにより、「お米、野菜をつくるだけ」「家畜を育てる」といった「生産のみ」の1次産業から、一步先へ踏み出すチャレンジをサポートするのが秋田市の取り組みのポイントです。

市では、6次産業化を促進するため、今年度から次の4項目に着目した事業などに取り組んでいます。

- ・6次産業化を担う人材育成のための研修やPR活動
- ・資源として活用できそうな一次産品の発掘と商品開発への支援
- ・6次産業化についての相談や、意欲的な農業・事業者との連携による事業の洗い出し
- ・小規模農産加工施設の整備、技術・研究などへの支援

具体的な事業内容など詳細は農林総務課（866-2115）へお問い合わせください。農林漁業のみならず、地域経済のさらなる活性化につながる6次産業化。市では今後、地域の特性を活かした独自の取り組みを展開していきます。



急募!

**農産品の加工等に取り組んでみませんか
(有望な農産加工品の情報をお寄せ下さい)**

市では今年度から本格的に6次産業化（農産品の加工・販売促進等）に取り組むこととされていますが、その主要な事業の一つとして、有望な市内農産加工品などの発掘・調査を行います。

市内で採れる農産品・水産品を活用した商品開発や商品改良、また、これら農産加工品の販路拡大などに取り組みたい方は、次によりお知らせください。有望な産品・商品については、イベント出品や県外出荷、輸出、研究開発などを市が支援します。申込みは自薦・他薦を問いません。

また、すでにある農産加工品などで、「ちょっとした工夫で人気が出そう」といった情報もお待ちしています。

こうした情報をいただいた場合は、市の担当者からご連絡し、内容を詳しく伺わせていただきますので、お気軽に基本的な情報だけをお知らせください。

○期 間 平成24年8月17日（金）まで

○連絡先 010-0973 秋田市八橋本町六丁目12番1号
秋田市役所農林部農林総務課 企画・管理担当
電話 866-2115 ファックス 864-4408
E-mail ro-agmn@city.akita.akita.jp

○内 容 産品・商品の名称と概要、情報提供者の連絡先（住所・氏名・電話番号など）